

1. 自己評価及び外部評価結果

作成日 平成29年7月20日

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	4671200378
法人名	有限会社 グッドライフ
事業所名	グループホーム てんとうむし
所在地	霧島市 国分 上井 903-2 (電話) 0995-47-4672
自己評価作成日	平成29年5月10日

※事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先URL	http://www.kaigokensaku.jp/46/index.php
-------------	---

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	特定非営利活動法人福祉21かごしま
所在地	鹿児島市真砂町54番15号
訪問調査日	平成29年6月28日

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

運営者の出身地ということもあって近隣住民の協力が得やすい場所にある。火災や緊急時の時には非常ベルを作動させ支援がもらえるようになっている。普段から、運営推進会議には地区の公民会長や老人クラブ、民生委員の出席がある。地区の行事や運動会、老人クラブの奉仕作業等での交流が図られ利用者が孤立しないようにしている。施設には季節の果物や草花が咲き乱れ利用者の心を和ませている。当施設は一ユニットの小さなグループホームで利用者、ご家族、スタッフがとても近い距離にあり面会時にはスタッフとの会話に花が咲き帰られることもある。スタッフの忙しそう姿を見て食後の茶碗を洗ってくださることもあります。誕生日にはご家族と一緒に祝ってもらえるように招待して食事をしご家族による余興を披露されることもあります。

○管理者及び職員は、法人の理念に沿った「私たちの思い」を掲げて、利用者に対して常に敬愛の気持ちと寄り添いの姿勢で一人一人の想いの把握に努め、その人らしい平穏な生活が過ごせるよう日々取り組んでいる。利用者及び家族の想いや要望等に対しては、職員会議や申し送り時に全職員で改善に向けた検討・協議を行ってサービスの向上に務めており、利用者及び家族との深い信頼関係が築かれている。

○管理者及び職員は、開設時より地域との関わりを大切にしており、日頃の散歩時の挨拶や会話はもとより、「健康福祉まつり」や地域や神社の祭りや運動会などの行事に積極的に参加し、設営作業や奉仕作業にも協力している。週2回ごみステーションの清掃に長年取り組み、地域の住民から寄せられる介護や高齢者福祉に関する質問や相談にも誠意をもって対応している。

○施設職員は全員、消防署での救命処置やAED取扱い等の研修を受講しており、併せて日頃からマスコミで報道される災害の事例をもとに意見交換するなど、防災に対する意識は高い。地域住民に対しても、AEDの設置と緊急時にはいつでも駆けつけて対処する旨を日頃から伝えている。災害時の対応についても、住民に向けて発生を知らせる非常ベルの設置や緊急通報装置に近隣の住民を登録して万一に備える等協力体制が構築されている。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I. 理念に基づく運営					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員はその理念を共有して実践につなげている	ホームの名前の由来や会社の名前の由来がそのまま理念になっており入職時説明している	理念を基に、ケアの姿勢やホームの由来等を記した「私たちの思い」を日常的に目に触れる玄関ホールや事務室に掲げて共有を図り、日常的に振り返りや意見交換を実施して利用者の気持ちを大切にしたいケアの実践に取り組んでいる。	
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	地域の行事に参加したりして現在ではホームが参加するのは普通になっている	ホームが、法人代表の出身地で長年居住してきた地区に設置されているため、地域との交流は自然な形で密に行われており、自治会が実施する夏祭りや運動会、神社の祭り等のイベントに積極的に参加協力し、週2回のごみステーションの清掃作業も当初より継続して取り組んでいる。8年前から音楽療法のボランティアの定期訪問（月2回）を受け入れ、また災害発生時の協力体制の構築、地域の人から日常的に農作物やタオルの差し入れがある等、円滑な交流がなされている。	
3		○事業所の力を生かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて生かしている	会議の中でホームができる事は利用して下さるよう声掛けしている		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
4	3	<p>○運営推進会議を活かした取り組み</p> <p>運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている</p>	<p>二ヶ月に一回会議を開き日頃のホームの取り組みを報告している。又委員の方からの質問や意見は参考にしている。</p>	<p>会議は公民館長・老人クラブ代表・民生委員・市職員、家族等が参加して定期的開催されている。利用者の生活や入退去の状況、施設の運営や行事の実施状況を報告すると共に、ケア及び災害時の対応に関する意見交換や高齢者福祉、認知症、感染症の勉強会を行っている。委員からの意見や提案は職員会議や議事録で共有して、提供するサービス向上や業務の改善に役立っている。</p>	
5	4	<p>○市町村との連携</p> <p>市町村担当者と日頃から連携を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる</p>	<p>運営推進会議には市の職員が参加されホームから質問をしたりしてコミュニケーションをとっている</p>	<p>市担当職員には運営推進会議に出席してもらい、日頃から訪問や電話でホームの運営や諸手続き、利用者の状況についての相談や協議を行う等の協力関係が築かれている。また、地区の文化祭に作品を出展したり、市主催の「健康福祉まつり」の際は職員が会場設営等も協力している。グループホーム協議会や地域密着連合会の会合や研修会等で行政職員や他施設の職員との意見や情報の交換を行う機会も多く、サービス向上に活かしている。</p>	
6	5	<p>○身体拘束をしないケアの実践</p> <p>代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる</p>	<p>時々スタッフには身体拘束の禁止となる行為について質問をしており各自理解している</p>	<p>「身体拘束に関するマニュアル」を整備し、毎月開催の職員会議や申し送り時に振り返りや意見交換を行なって認識を深め拘束のないケアの実践に努めている。昼間は玄関やリビング、居室は施錠せず、特に言葉による拘束の排除については日常の支援の中で常に意識しており、利用者の安全を確保しながら自由な暮らしの支援に努めている。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
7		<p>○虐待の防止の徹底</p> <p>管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている</p>	利用者に対する言葉掛けや対応等では特に気を付けている		
8		<p>○権利擁護に関する制度の理解と活用</p> <p>管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している</p>	研修があれば参加して勉強が出来るようにしている		
9		<p>○契約に関する説明と納得</p> <p>契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている</p>	契約時は契約書に添って説明をし解らないことが無いようにしている		
10	6	<p>○運営に関する利用者、家族等意見の反映</p> <p>利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p>	<p>玄関に意見箱を設置している。面会時は何か意見や聞きたいことはないか声掛けしたりしてコミュニケーションをとっている</p>	<p>利用者の意見や思いは日常のケアの中での会話や表情、所作等から把握に努め、また家族とは日頃の面会やホームの行事への来訪時の対話や電話、意見箱の設置等、工夫して相談や要望等の把握に努めている。出された意見や要望は、職員全員で話し合って改善を図るなどサービスの向上に反映させており、経過や結果については、本人や家族にも報告して理解を得ている。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
11	7	<p>○運営に関する職員意見の反映</p> <p>代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている</p>	<p>職員会議ではスタッフからの意見や要望をそれぞれ聞き可能なものについてはすぐに対応している</p>	<p>法人代表及び管理者は、日頃から職員の状況把握と話しやすい雰囲気づくりに努め、日常のケアの中や申し送り、職員会議等で職員の意見や提案を聞き取ると共に、必要に応じて個別面談の場も設けている。出された意見や提案等は、職員全員で協議して具体的に職員のスキルアップや業務改善、ケアの向上につなげている。勤務シフトや外部研修受講等についても職員の意向を確認して可能な限り希望に添うよう配慮し、資格取得へのバックアップに努めるなど、常に働きやすい職場環境の構築に取り組んでいる。</p>	
12		<p>○就業環境の整備</p> <p>代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている</p>	<p>資格や経験、事業所内での勤務に対する姿勢等考慮している</p>		
13		<p>○職員を育てる取り組み</p> <p>代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>	<p>ホーム内研修においては担当スタッフを決めそのスタッフが自分でも勉強しながら資料の準備が出来るようにしている</p>		
14		<p>○同業者との交流を通じた向上</p> <p>代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている</p>	<p>他施設との交流が図れるように機会をもっている</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
15		<p>○初期に築く本人との信頼関係</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている</p>	<p>入居前に面接に出向いたりご家族と一緒にホームに遊びに来ていただいたりして安心して利用できるようにしている</p>		
16		<p>○初期に築く家族等との信頼関係</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている</p>	<p>相談の電話や見学時によく話を聞きホームで対応できることできないことをきちんと説明し理解いただけるようにしている</p>		
17		<p>○初期対応の見極めと支援</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている</p>	<p>面接や相談があったとき一番困っていることが解決できるように対応している</p>		
18		<p>○本人と共に過ごし支え合う関係</p> <p>職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている</p>	<p>本人ができる事やしたいことはなるべく本人にやっていただき受身みならないようにしている</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
19		○本人と共に支え合う家族との関係 職員は、家族を介護される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	病院受診時は原則として家族対応であることから主治医からの受診要請があるときはホームと病院側で日程の調整をして家族に対応してもらっている		
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	面会制限等はなくいつでもご家族、兄弟、友人に来ていただいている	利用者の生活歴や入所前の暮らしぶりの聞き取り等で馴染みの人や場を把握し、家族や友人等の来訪時にはゆっくりと過ごせるようお茶や面会の場所に配慮している。家族の協力も得ながらドライブや一時帰宅、買い物、法事・墓参り・外食等を支援している。また、遠方の家族には利用者の状況や運営推進会議の資料を送付し、電話や手紙の取り次ぎも行うなど、馴染みの人や場との関係の継続に努めている。	
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	利用者同士が話をされているときはそっとして話が途切れないようにしている		
22		○関係を断ち切らない取り組み サービス利用〈契約〉が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	入院等でホームを退所されてからも様子を見に行ったりその時のことを家族に報告したりしている		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	利用者の個性を大切にしながら精神的な面からも支援をおこなっている	思いや希望を本人や家族との対話やケアの中で把握し、また会話が困難な利用者からは、「あーあー」「うーうー」等の会話や表情、仕草等のサインで把握している。新聞の購読や折り紙、洗濯物たたみ等への取り組みも本人の希望に添って活動できるよう個別の支援を行っており、利用者の励みになるよう成果に対しても評価の言葉かけに努めている。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活暦や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	一人ひとりの生活環境を把握し少しでも以前の生活が継続できるようにしている		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	日常の観察や申し送り等で情報を共有しながら行っている		
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	職員会議内においてサービス担当者会議を開き意見を出し合い本人や家族の希望に添った計画を立てている	利用者の日常の様子を丁寧に把握し、本人及び家族の希望や主治医の意見も含めて課題について話し合い、出された意見を反映させて利用者個々の状況に即したわかりやすい介護計画を作成している。計画は3カ月毎にモニタリングし、また、利用者や家族の状況に変化が生じた場合には、実情に沿って修正を行って改善を図っている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	申し送りや日誌等で情報の共有を図っている。又状況の変化があった場合は必要に応じて計画を立て直している		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	希望者にはマッサージを受けていただく等の支援をしている		
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らし方を支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	地域の運動会に参加させてもらったり、神社の行事に見学に行ったりしている		
30	11	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	訪問診療時は付き添い主治医からの指示を家族に伝えたり家族や本人の希望を主治医に伝えたりしている	利用開始時に病歴やかかりつけ医を把握し、本人や家族が希望する医療機関で治療している。通院は職員と家族が協力して同行の支援を行い、月1~2回訪問診療も行われている。受診の状況は詳細に記録され、家族とも密に連絡を取り合って共通の認識と対応を図っている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		<p>○看護職員との協働</p> <p>介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している</p>	<p>ホーム内には看護師がいない為介護職員間の情報交換を密に行い必要時は医療機関の看護師を通じて報告相談しながら健康管理をしている</p>		
32		<p>○入退院時の医療機関との協働</p> <p>利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。または、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている</p>	<p>入院時は管理者がお見舞いを兼ねて定期的に面会に行っている。本人やご家族病院側にホームや家族の意向を伝えたりして早期の退院が出来るようにしている</p>		
33	12	<p>○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人や家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる</p>	<p>日常的に医療行為が必要になったときには対応困難なため家族や本人が希望すれば入院となるが本人や家族の意向が明確で主治医の協力があれば希望に添うこともある</p>	<p>重度化や終末期のケアについては、入居時にホームの方針を利用者と家族に十分に説明を行い、理解を得ている。利用者が重度化した時点で職員、主治医、家族と十分な話し合いを行い、希望に添った支援の体制を築いて対応しており、これまで1件の看取りを実施して感謝されている。今後も職員のスキルアップを図りながら、利用者の状況や家族の意向に可能な限り添ったケアに取り組む意向である。</p>	
34		<p>○急変や事故発生時の備え</p> <p>利用者の急変や事故発生時に備えて、すべての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている</p>	<p>事故防止に取り組むとともに応急手当ができるように全スタッフが研修に行き普通救命士の資格をもっている</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
35	13	<p>○災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている</p>	<p>消防署に立ち会ってもらったの避難訓練や消火訓練を行うと共に災害時に避難場所への避難訓練を行っている</p>	<p>夜間想定を含む火災、風水害時の通報、避難、消火等の訓練を消防署も参加して年2回実施しており緊急通報装置に近隣の住民を登録するなど地域住民の協力体制も構築されている。スプリンクラーや自動通報装置、消火器等が整備され、卓上コンロ、ラジオ、飲料水や保存食品も準備されている。救命処置やAEDの取扱い等の研修に全スタッフが交代で参加すると共に、マスコミの事例をもとに日常的に対応を話し合う等、災害への意識は高い。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	その人に合った声掛けをし人生の先輩として尊敬して接している	プライバシー保護や個人情報の取り扱いについては計画的に研修を実施し、利用者の人格や誇りを損ねるような対応が無いよう日々の支援の中でも注意し合う等、常に意識してケアに取り組んでいる。特に排泄や入浴、衣服の着脱時の支援に際しては、利用者の気持ちや尊厳を傷つけることの無いよう細かに配慮しており、また利用者に係る台帳類の管理も適切に取り扱っている。居室や浴室、トイレ等はプライバシーが確保された構造となっている。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	何かする時には利用者がどうしたいのか、何を考えているのかを聞いて対応している		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	本人がどうしたいかを観察しながら希望に応じた生活ができるようにしている		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるよう支援している	本人に何を着たいか聞いたり、趣味に合ったような物を選んだりしている		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
40	15	<p>○食事を楽しむことのできる支援</p> <p>食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている</p>	<p>好き嫌いがある人には出来る範囲で別な物を出したり時には食べたい物を聞いたりしている</p>	<p>身体状況・病状に伴う食事制限や形態、栄養バランスに配慮し、利用者の好みも取り入れながら、差し入れや菜園の野菜を活用して季節感のある食事を提供している。おせち、節句、クリスマス会等の行事食や、団子など手作りのおやつ、家族同伴の外出、ウッドデッキでのお茶、味噌やあく巻作りなど食事が楽しみとなるよう工夫しており、職員も一緒に歓談しながら食事している。利用者は食材の下ごしらえや、下膳、テーブル拭きなどを自発的に楽しみながら行っている。</p>	
41		<p>○栄養摂取や水分確保の支援</p> <p>食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている</p>	<p>食事の量は個人差があるのでその人に応じた量で提供したり食べやすく細かくしたりしている</p>		
42		<p>○口腔内の清潔保持</p> <p>口の中の臭いや汚れが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている</p>	<p>毎食後の口腔ケアの実施や義歯の不具合は歯科と連携している</p>		
43	16	<p>○排泄の自立支援</p> <p>排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている</p>	<p>排泄のリズムや行動を把握し随時の誘導や定時に誘導することで失敗を減らすようにしている</p>	<p>利用者の表情や所作の見守りや排泄チェック表の活用で、個々のリズムを把握し、誘導や声掛けを工夫して、可能な限りトイレで排泄できるように支援している。利用者の状況に添った対応になるよう話し合いや介護用品の工夫に努め、不安や羞恥心にも配慮しながら日々のケアに取り組んでいる。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	水分補給や牛乳、ヨーグルトを食べてもらったりしている。それでも排便のない方には薬等等でコントロールしている		
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援している	利用者の体調に合わせて入浴時間を変えたりして本人が気持ちよく入浴できるようにしている	本人の好みや習慣を把握し、健康状態や安全面、清潔保持に十分配慮しながら、シャワー浴や清拭・足浴等に変更することも含めて隔日ごとに入浴が楽しめるように支援している。入浴を拒否される場合には、無理強いしないで、言葉かけの工夫や職員・時間帯を変更するなど、工夫して本人の気持ちに添って柔軟に対応している。	
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	可能な限り時間に縛られることなく自由に行動できるようにしている		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	薬の効果や副作用等いつでも見られるようにカルテに綴じている		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活暦や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	洗濯物たたみ、新聞たたみ、ちりがみ折り、等本人が希望されたらしてもらっている		
49	18	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるように支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	ご家族と一緒に食事や散髪、ドライブに行かれることもある。座位保持の出来ない方のご家族との外出時はホームの車椅子対応の車を使っている	日常的に園庭や近辺の散歩、近所の神社の鯉に餌やり、買い物等を利用者の体調や天候等に配慮しながら意向に添って外出の支援に努めている。入居者の重度化により、全員での長時間の外出は難しくなっているが、家族と協力して季節の花見やミニドライブ、外食、一時帰宅、墓参等の外出を支援しており、利用者の楽しみとなっている。	
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	自己管理できる方は所持されています。家族と一緒に外出される際には買い物をしたりされています		
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援している	電話や手紙のやり取りの制限はしていません。自由にハガキを書かれこれを出してくださいとスタッフに預けられています		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
52	19	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱を招くような刺激（音、光、色、広さ、湿度など）がないように配慮し、生活感や季節感を取り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	季節に応じてエアコンを使用して心地よい環境を整備したり花を飾ったりしている。	室内は木目を基調とした落ち着いた色彩で、天窓仕様で明るく、リビングには畳の部屋が設けてある。整理整頓が十分になされ、常に室温や換気に配慮されている。随所に利用者と職員が作成した季節感のある貼り絵や行事の写真などが飾られ、和やかでゆったりと気持ち良く寛げる環境になっている。屋外につながる大きなウッドデッキにはテーブルセットがあり、自由に外気に触れながらお茶や周囲の景色、園庭の花木を楽しめるようになっている。	
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	食堂で皆と一緒にいたい方もあれば自室で横になられたり畳やソファで寝たり自由にされている		
54	20	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	入居の際は本人が自宅で使用されていた寝具類やタンス、ベッド等持ってきてくださるようお願いしている	居室は和・洋室があり、利用者の状況等に配慮して入室されている。いずれも余裕ある広さで明るく、また掃出し窓の仕様の為、園庭での散歩を自由に楽しめている。クローゼット、エアコンが設置されており、利用者は使い慣れた寝具や整理ダンス、家族写真、身の回りの小物を自由に持ち込んで、安全な動線を確認しながらそれらを配置しており、家庭同様に落ち着いて居心地良く過ごせる居室となっている。	
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	窓ガラスにぶつかっていく方がおられる為その方の目線のあたりにシールを貼ってぶつからないようにしている		

V アウトカム項目

56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23, 24, 25)	○	1 ほぼ全ての利用者の
			2 利用者の2/3くらいの
			3 利用者の1/3くらいの
			4 ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18, 38)	○	1 毎日ある
			2 数日に1回程度ある
			3 たまにある
			4 ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿が見られている。 (参考項目：36, 37)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている。 (参考項目：49)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない

61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目：30, 31)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
62	利用者は、その時々々の状況や要望に応じた柔軟な支援により安心して暮らせている。 (参考項目：28)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています。 (参考項目：9, 10, 19)	○	1 ほぼ全ての家族と
			2 家族の2/3くらいと
			3 家族の1/3くらいと
			4 ほとんどできていない
64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9, 10, 19)	○	1 ほぼ毎日のように
			2 数日に1回程度ある
			3 たまに
			4 ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)	○	1 大いに増えている
			2 少しずつ増えている
			3 あまり増えていない
			4 全くいない

66	職員は、生き活きと働いている。 (参考項目：11, 12)	○	1 ほぼ全ての職員が
			2 職員の2/3くらいが
			3 職員の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。		1 ほぼ全ての利用者が
		○	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。		1 ほぼ全ての家族等が
		○	2 家族等の2/3くらいが
			3 家族等の1/3くらいが
			4 ほとんどいない